# vol.61 2024年2月11日発行 仙台の注目情報を毎月イイトコドリ! 河北仙販 S-Style Kappo M

寒い!寒い!寒い! 暖冬というものの、冬はやっぱり寒いですね。 年齢を重ねると…若い時には平気だった寒さが身に沁みます。 今月号の特集は、「酒蔵」「酒と肴の旨い店」です。 酒蔵には「お宝が眠っている!」「酒がある!」… それだけでワクワクしちゃいます(笑)

2月13日(火)の河北新報朝刊は休刊日のためお休みとなります。 ※掲載の情報は、本誌発行後、変更になる場合もありますので、予めご了承ください。

## 大人の好奇心くすぐる"酒蔵



### 酒造りを知る見学と試飲 酒造ならではのお菓子もチェック

1918年に創業し、"心に春をよぶお酒"をコンセプトに酒造りを する『寒梅酒造』。自社栽培米や宮城県産米、鳴瀬川の伏流水で 醸す純米酒は、華やかな香りと旨みを備えている。洗米から瓶 詰までの工程を見学できる蔵見学(1,100円)は、試飲あり (1.650円)、試飲・つまみあり(2.200円)も用意。敷地内に『お やつ工房ハルリッカ」があり、酒米や麹、酒粕を生かしたお菓子 を揃えているので、お土産にぜひ。

### 寒梅酒造

**俚宮城県大崎市古川柏崎境田15** ☎0229-26-2037 図8:30~17:00※蔵見学は要予約 体不定体 肥http://miyakanbai.com



### 伝統的な清酒から流行りの銘柄まで 製造工程を知り、湧く愛着

宮城県内の酒造4社が1つとなり、1973年に生まれた『一ノ蔵』。 主原料となる米のほとんどが宮城県産で、商品ごとに使い分け て使用。敷地内の2本の井戸から仕込み水を汲み上げ、軽くお 酒を楽しみたい世代に人気のスパークリングや低アルコール酒 なども醸造している。蔵見学(無料)は、同蔵の酒造りを紹介す る動画視聴から始まり、見学回廊より各製造工程の見学、試飲 や買い物が楽しめると好評。

### 一ノ蔵

匯宮城県大崎市松山千石字大欅14 ☎0229-55-3322 閏9:00~17:00※蔵見学は要予約 M不定休 ⊮https://ichinokura.co.jp



### Kappo®編集長の間借りコラム ちょっとお時間よろしいですか?

# *Kappo*■3月号は、 久しぶりの"酒場"の特集です

年が明けてだいぶ時間が経ってしまいましたが、2024年もKappoをどうぞよろ しくお願いいたします。

さて、Kappo3月号の巻頭特集は「酒場は語る」。ここ数年、酒場に行きづらい 状況が続いていましたが、そもそも酒場とは、客と店、客同士はもちろん、歴史や酒、 食材など、酒場を媒介にさまざまなモノ、コトと繋がれる場所でした。仙台市内中 心部を対象に、歴史のある店には歴史を、食材や酒に思い入れが

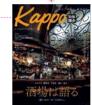
ある店には食材や酒を、新しい店、リニューアルした店にはそ の魅力を大いに"語って"もらいました。特集を読んで、久し ぶりの酒場、なじみの店や掲載店に足を運んでいただけると うれしいです。



### **Карро⊞ 3月号【巻頭特集】**

### 歴史を、土地を、酒を、食を。「酒場は語る」

第2特集 新·東北風土記 特別版 「福島県沿岸部を旅する」



### 酒と肴の旨い店

### 中杉山 はんぞう

閑静な住宅街に店を構え、心を込めたおも てなしを提供。親方の故郷・気仙沼をはじ め近海の魚介を中心に据えた献立で、来店 客の舌と心を魅了。宮城県産の野菜たっ ぷりのランチもぜひ。



**俚宮城県仙台市青葉区上杉3-9-66** ☎022-263-8571 図11:00~最終入店13:00、18:00~最終入店19:30(22:00閉店)※月・水曜は

## 夜のみ営業※昼は前日まで要予約、夜は予約優先 困火曜、第2・4月曜

### おとな飯 和 kazu

化学調味料を使わず、素材本来の旨みを引き出す 料理がウリ。昼は日替わりのネタを使った海鮮丼が 人気で、目利きした魚介はもちろん、アラから出汁 をとった味噌汁や自家製ぬか漬けも絶品。

**運宮城県仙台市青葉区上杉1-8-17 上杉21ビルB1F** ☎022-721-9190

図11:30~13:30、17:00~23:00※土曜は夜のみ営業 田曜、祝日



### restaurant Matsuda

提供するのは1コースのみで、ランチとディナー各2 組までの完全予約制レストラン。オーナーシェフ自 ら県内の生産者のもとに足を運ぶこだわりが、美し い一皿一皿に込められている。

☎022-357-0730 園11:00~14:30、17:30~22:00

# **闺宮城県仙台市若林区なないろの里2-29-11**

### まぐろ屋 やまもと

仲買人のオーナーが営む、マグロ料理専門店。塩 竈市の魚市場に、その日の朝揚がったばかりの生マ グロが楽しめる。昼夜味わえる「やまもと特製漬け タレ丼」は、手頃で満足感の高い一品。

但宮城県仙台市青葉区一番町4-5-16 東一市場1F ☎022-796-3727 図11:00~15:00(LO14:30)、17:00~LO23:00



### 遠藤鮮魚店

150年にわたり地域に愛されてきた、山に 囲まれた盆地の鮮魚店。料理をコースで提 供する飲食スペースが併設されており、 日々の仕入れに合わせ、旬感を上手く引き 出した料理でもてなす。

**但山形県南陽市宮内2616** ☎0238-47-2029 園9:00~18:00、18:30~22:00 休日曜、月1回月曜



### ジョージ George

日本酒とワインのソムリエ資格を持つ店主が厳選 した銘酒をセレクト。「鱈白子と海胆餡たっぷり海 鮮茶碗蒸し」など、旬素材が生きる多彩な料理との マリアージュをじっくりと愉しんで。

**俚宮城県仙台市宮城野区榴岡4-4-1 コーポきよはし102** ☎022-299-5171 閏17:30~24:00(LO23:30) M水曜、月1回火曜もしくは木曜









吉田凪沙ちゃん(3ヵ月)





寺嶋涼弥くん(6ヵ月)

投稿



【応募方法】 郵送

お気に入りのお写真をお送りください。

募集中のテーマは 「孫自慢」「我が家の鍋」!

写真1枚に必要事項を添えて下記住所まで郵送

〒983-0038仙台市宮城野区新田3-20-12 河北仙販開発課「孫自慢」係

※必要事項:氏名/年齡/性別

河北仙販開発課「我が家の鍋」係
※必要事項:ひと言コメント/ニックネーム

【応募方法】直接

河北仙販各支店に直接お届け、または河北仙 販社員に手渡しも可

【応募方法】応募フォーム



「我が家の鍋」







佐々木晴翔くん(2歳)





# Present 🖀

- プレゼント―

### 【応募方法】 郵送

はがきに「希望の商品名」「住 所」「氏名」「電話番号」を記載 し下記住所まで郵送

〒983-0038 仙台市宮城野区新田3-20-12 河北仙販開発課 「プレゼント」係

### 2024年2月29日(木)

※どなたでも応募できます

本プレゼントを通じて得る個人情報は、第三者に開示することは一切ありません。お客様からご提供いただきました個人情報はプレゼント商品の発送、当社からのDM発送以外の目的で使用することはありません。

[応募方法] 応募フォーム

応募フォームへのアクセスはこちら



### | アイリスレンジアップ 「筑前煮」 | 「もつ煮込み」 「牛すじ大根」 3種セット

山田一翔くん(4歳)





レンジで温めるだけで手間なく完成。新鮮野菜と新潟魚沼の水を使用し旨さにこだわった一品です。「筑前煮」「もつ煮込み」「牛すじ大根」の3種、各1袋を5名に。

### 味の素AGF 「ブレンディ®ザリットル」2種セット



水にもサッと溶ける個包装タイプのパウダードリンク。 急な来客時にも1Lの飲み物が手軽に用意できます。 風味豊かな「烏龍茶」「緑茶」各6本入りを5名にお届け。

### | ユウキ食品 「やさしい味わいのガラスープ (顆粒) | 「四川豆板醤」 「甜面醤」 「コチジャン」 4種セット



ユウキ食品で人気の「化学調味料無添加のガラスープ」 が、原材料の一部を見直しリニューアル。便利なチュー ブ調味料と共に10名にプレゼント!

### スコッティカシミヤ 「ナチュラル」 50組入りパック×2個セット



ふんわりカシミヤのような肌ざわり。 すべて紙製なので ゴミもかさばらず、 そのまま捨てられて便利。 コンパクトサイズの50組入りを2個セットで5名にお届け。

仙販宅配サービス

### 「キジトラ珈琲舎」 店主・伊藤誠の気ままコラム



## 寝ているだけで 褒められたい

あ〜あ〜あ。またやっちまったぜい。小舎名代の焼きリンゴ、オーブンの中にいささか長めに突っ込みっぱなしにしちゃったい。ままあることではあるんだけど、1日2回は困ったもんだなあ…

冬場は空気が乾燥しているもんだから、記憶があっという間に蒸発して困る。揮発性の記憶。ベンジンで拭いといたみたいなあんばいだ。染み抜きか。かすかに漂う記憶の断片さえベンジンで抜かれちゃってる感じだよ、まったく。

秋口に予想した通り、高いのよリンゴ。 倉庫代はこっち持ちみたいなことなんだろね。 それをまったく空気が乾燥してるだのオーブンの熱気に当てられただのとスルンと忘れちゃって真っ黒に焦がしてるんだからほぼ自爆テロだわよ。

リンゴに限った話じゃない。通常のオーダーもいろいろこんがらがっちゃうことが多くなっている。「はいブレンドお待たせしました。で、お嬢さんはドリンクなんだっけ」なんて平気で聞いてる。ちょっと前なら脳味噌に脂汗が滲むぐらい思い出し行動をとっ

て、やむなく白旗をあげるといったプライドめいたものもあったんだが、最近は諦めが早い。この手の諦めにも頃合いがあって、あんまり早く諦めて聞きに行っちゃうと、またスルッと忘れちゃう。堪忍していただきたい。ジジイだもんで。

亡父じいさまの晩年、いわゆる「もの忘れ外来」に付き添って行ったのは、娘が生まれる前だっただろうか。荒町角の市立病院だった。リンゴやみかんの絵が出てくる簡単なチェックに戸惑う父親の姿というのは、なかなか残酷で衝撃的だった。そのほんの数年前、オレが長期出張している間、先代ちゃんのキジトラをめんこめんこして元気に面倒みてくれてたのに。

とはいえまだ早いよ、オレ。そのころじいさまは70代 半ばだったはずだ。今のミック・ジャガーくらいの年まわりぢゃな。オレだってまだ猶予10年はあるだろう、いくらなんでも。そもそも店ぇ始めた時に「ぬるくゆるく」なんつって、たるんでることでは人後に落ちない自負はあったわけなんだから、昨日今日たるんだわけじゃない。筋金入った「たるんでるジジイ」であるだけだよきっと。

知り合いの眼科に見てもらおうかな。「君んとこやってるでしょ、もの忘れ外来」「惜しい! ウチは『ものもらい外来』ならやってる♡」なんて、なんだか楽しそうでいいじゃないか。

### ● キジトラ珈琲舎

河北仙販 開発課 2353-7885



